

令和8年4月1日号

まちなみ通信 No.83

～ 市と宮島工業高校の取組(令和7年度)～



廿日市市宮島町のスタンプ

－ 宮島町家の模型制作の取組 －

宮島工業高校建築科では、「町家の建築的特徴の学習」と「測量製図」の授業の一環として、令和4年度から島内の伝統的建造物を対象に毎年1棟ずつ、3Dプリンターで建築模型を製作しています。令和7年度は町家通りの中ほどに立地し、伝建地区内でも、ひときわ目を惹く吉田家の模型を製作しました。



－ 現地で調査 －

昨年9月から10月にかけて計3回にわたり、現地での測量を実施しました。測量機器などを使い、寸法などを手描きの図面に落とし込んでいきます。普段、現代の建物の水平・垂直の線で構成される図面を見慣れている生徒たちにとって、伝統的建造物の整形でない平面形状や湾曲した柱・梁の測量はとても難しく、四苦八苦しながら方眼紙に落とし込んでいきました。



現地調査の様子

－ 図面を作成 －

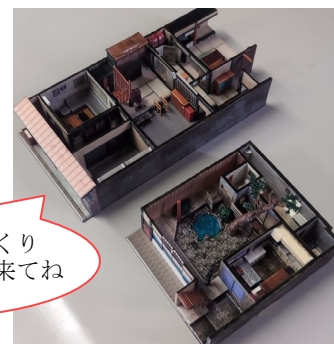
専用のソフトを使って、パソコン上で作図していきますが、新築の建物と違い、各部材の寸法が揃っていない町家の作図はとても難しく、細かい調整を幾度となく要しました。こうした苦労の甲斐もあり、出格子や吹き抜け空間、内庭にある松をはじめ、全体的に再現度が非常に高い図面が出来あがりました。



パソコンでの作図

－ 3Dプリンターで出力 －

完成した図面をパソコンで3次元化し、色情報などを盛り込み、細部まで作り込んでいきます。それをカラー着色可能な3Dプリンターで出力しますが、幅5cm、奥行26cmの模型でも約48時間かかります。一発勝負なので慎重な最終確認が必要です。



完成した模型

－ ついに完成 －

2つの模型を製作していただき、1つは所有者である吉田さんに、もう1つは市に寄贈していただく予定です。市がいただいた模型はひろでん宮島まちづくり交流センターのロビーに展示していますので、皆様もぜひご覧ください。

ひろでん宮島まちづくり
交流センターに見に来てね

※このたびの一連の取り組みをNHK広島放送局に取材していただきました。



吉田さんへお渡し

～ 伝統的建造物の紹介 No.17 《岩村もみじ》～

中江町筋と滝町筋の交わる北東角に建ち、中江町筋へ西面しています。当地は天明3年絵図では「松ヤ孫兵衛」、「杓子ヤ久左衛門」の屋敷地で、滝町筋を正面に構えています。当家は戦後に質屋の旧東川家より取得したと伝えられ、南町の消防署の辺りで経営していたもみじ屋を移されたようです。

旧状の南面を正面として見ると、開口（桁行）2間半、奥行（梁行）4間半余りで、切妻造平入本二階建の町屋です。

1階は全面が店土間とされており、旧状は不明です。

2階は、比較的当初平面が維持されており、南側へ8畳、北側へ6畳の座敷で、間に5畳のアイノマと呼ばれる居室があります。

また、南面には手摺りと縁が備えられ、軒桁には角材が用いられています。

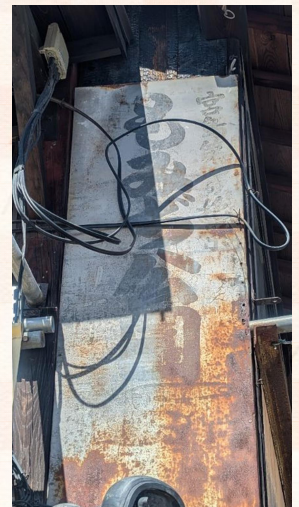
1階を店舗とし、2階へ居室を構える構成や、軒廻りの造作など、近代町家の特徴をもち、建築年は大正末から昭和初期の遺構と考えられています。



中江町筋と滝町筋の交差点より



「土葺き」と「薄い瓦」の下屋庇



「もみぢ公園」案内看板

— 申し出受付中 — 【補助制度】 シロアリ駆除しませんか？

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。

（補助率 9/10 以内 上限 100 万円） ※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、一度、宮島企画調整課までご相談ください。

【建物相談会のご案内】

宮島企画調整課の職員（建築職）による、建物相談会を実施します。相談内容に応じて最良のアドバイス・ご案内等をさせていただきます。相談日以外でも、建物に限らずお困りごとなどの相談を受け付けておりますのでいつでもご連絡ください！

○日時：令和8年4月16日（もく）10時00分～16時00分〈予約は不要です〉

○場所：ひろでん宮島まちづくり交流センター 1階会議室

○相談事例：建物のお困りごと（雨もり、シロアリ、外壁の劣化、耐震化など）や補助制度のことなど

※ 相談等に関して知り得た個人情報を利用目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供することはありません。

まちなみ通信 No. 83（令和8年4月1日）発行

廿日市市 経営企画部 宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 TEL(0829)30-9119 FAX(0829)32-1059